

事業取組みの経緯

一般的な畳の受注減少が顕著になってきている一方、取引顧客より特殊畳の要望と住宅の洋風化に対応する置き畳の問い合わせが増加傾向にあったが、既存の設備では断るか、手作業で対応するしかなく対応に苦慮していた。そこで、生産プロセスの改善による製造能力の強化と同業者からの急な下請けにも対応できる畳製造の短納期化を目指した。

事業内容

機械設備導入を行い、生産プロセスの改善により高い畳製造技術と軽量かつ特殊形状にも対応できる高品質畳の開発と超短納期を図るため、本事業に取り組んだ。その結果、特殊畳の製造や今までできなかった薄畳の縫着並びに置き畳も製造可能になった。さらには急な新調畳も両裁断で超短納期が実現した。

有限会社宮畳工場



柔道表への文字・写真の印刷や贈答品としての商品化を試作開発中

平成28年度補正 革新的サービス

生産プロセス改善による高品質畳の開発と超短納期の新サービス提供事業

設備導入を行い、生産プロセスの改善により、高い畳製造技術と畳床製造から納品まで一貫して行える強みを活かし、軽量かつ特殊形状にも対応できる高品質畳の開発と、同業者が実現していない超短納期（1DAY納品サービス）を実現する。

事業成果・達成要因

2018年1月から本格的に稼働した設備（両裁断機・熱圧着機・縫製機）導入で、製造スピードが格段に向上、50～70枚程度の注文なら超短納期（1DAY納品サービス）が可能となった。2019年8月現在の納入実績は、柔道畳で長崎市内の武道場（160枚）、末吉総合体育館（200枚）、介護畳で鹿児島県さつま町の福祉施設である。

今後の取組み

当社の今後の取組みとして、①全日本柔道連盟公認畳の柔道畳ブランド「善」について、ホームページによるPR活動の強化、②衝撃緩和型畳床のJIS規格の制定に伴う鹿児島県畳工業組合における介護畳の規格化・ブランド化、③畳製作1級技能士3名による多能工化を進めることによる更なる技能及び生産性向上を図りたい。



（左上）両頭式・自動框裁断機（スパットF）
（右上）框縫機（ホープGAT2）
（左下）熱圧着機（スタンプM）
（右下）畳制作最終仕上げ作業は職人の腕



令和ものづくり元年

未来創造 POINT!

古きと、新しいを 住まいに

〔専門家からのアドバイス〕

導入した3台の設備をフル稼働することで、柔道畳・介護畳の畳表の量産受注体制は整うことになるが、鹿児島県内5社しかない畳床メーカーとしては、さらなる製造能力向上が今後の課題と思われる。鹿児島県畳工業組合における介護畳の規格化・ブランド化とともに、床部会で連携して増産体制の構築に取り組んでいただきたい。

企業 PR

当社は、現社長の曾祖父が明治45年に開業し、今年で107年を数えます。畳床から一貫生産できるのが強みで、畳製作1級技能士が3名在籍しており、技術・品質は折り紙付きです。加えて今回の新型設備の導入で、特急注文や大量注文にも対応可能となりました。これからも新しい畳の可能性に業界を挙げて挑戦して参ります。



宮社長とスタッフ

企業概要

事業者 有限会社宮畳工場
代表者 代表取締役 宮 伸一郎
設立年月日 昭和42年1月10日
所在地 〒895-1811 鹿児島県薩摩郡さつま町虎居柚木ヶ谷4233-1
TEL: 0996-53-0653 / FAX: 0996-52-3385
〈URL〉<https://miya-tatami.jimdofree.com/>
(本社) 〒895-1812 鹿児島県薩摩郡さつま町虎居町10-17

資本金額 300万円
従業員 4名
業種 その他の製造業